

【写真学科】専門試験参考資料

2027年度写真学科入学者選抜区分の概要とポイント（詳しい日程等は各ページをご確認ください）

●総合型選抜〈学びのポートフォリオ〉と〈作品ポートフォリオ〉が必要

写真に対する意欲に溢れた人であれば、年齢や経験にかかわらず出願可能です。学力だけでは測れない意欲や感性、想像力や創造性などを総合的に評価します。

〈学びのポートフォリオ〉と〈作品ポートフォリオ〉に関する口頭試問については、写真に対する情熱を見たいという考えからです。持参する〈作品ポートフォリオ〉は、一眼レフ等のカメラで撮影したものでなくても、スマートフォンで撮影した写真でも全く問題はありません。技術だけではなく、あなたがどんな写真を好んでいるのか、どのような感性をもっているのかを重要視しています。〈作品ポートフォリオ〉をもとにあなた自身を積極的にアピールしてください。「面接」では〈学びのポートフォリオ〉や〈小論文〉を参考にしながら、高校時代の活動など、あなたがこれまでの経験の中で得たこと、努力してきたことなどを評価します。合わせて相手に分かりやすく伝える力やコミュニケーション力も見ています。写真制作が未経験という方も勿論受験可能です。

※ポートフォリオの詳細は右ページをご確認ください。

●学校推薦型選抜（公募制）〈学びのポートフォリオ〉のみ必要

高等学校または中等教育学校等を2027年3月卒業見込みの方が受けられる区分です。下記のA～Cのいずれかに条件を満たす方が出願できます。

- A. 全体の学習成績の状況が3.0以上の者
- B. 「全国高等学校総合文化祭写真部門」に出展し、高等学校文化連盟写真専門部の推薦書があり、全体の学習成績の状況が2.7以上の者
- C. 全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」のブロック予選に出場した選手で、全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」（東川町写真の町課）の推薦書があり、全体の学習成績の状況が2.7以上の者

※出願資格の詳細については17ページをご確認ください。

出願には学校長の推薦が必要です。基本的にはこれまで積極的な写真活動をしていた方が対象となりますが、意欲があれば、本格的な写真制作が未経験でも構いません。試験内容は「面接」と「小論文」です。「面接」では、〈学びのポートフォリオ〉を参考に高校時代にあなたが夢中になったこと、課外活動、これまで取り組んだ写真活動、そして写真に対する熱意を聞かせてもらいます。「小論文」では、あなたの写真に対する考え方や理論性を確認しながら創造性を評価しています。

●外国人留学生・帰国生選抜 ポートフォリオや作品の持ち込み不可

外国人留学生や帰国生向けの区分です。「面接」と「小論文」による試験を行います。「面接」にはポートフォリオや作品の持ち込みは出来ません。教員との面談を通してあなたの写真に対する熱意、どんなことを学びたいと考えているか等を伝えてください。「小論文」では発想力や考察力などに着目しています。いずれの試験でも専門性と合わせて日本語能力やコミュニケーション力を評価しています。

●一般選抜N全学統一方式（第1期）専門試験併用型 ポートフォリオや作品の持ち込み不可

学力検査（国語・英語）と「面接」で評価します。ポートフォリオの準備は必要ありません。「面接」では写真に対する意欲や情熱、コミュニケーション力などを評価します。なぜ日芸で写真を学びたいかを伝えてください。

●一般選抜N全学統一方式（第1期・第2期）学力検査のみ

学部・学科間併願だけでなく、同一学部内の複数学科への併願が可能な区分です。一回の受験で複数の学科を併願することができるメリットがあります。学力検査のみで評価します。小論文が苦手な方、学力に自信がある方に向いています。

*他にも日本大学付属高等学校所属の方向けの「学校推薦型選抜（付属高等学校等）（学びのポートフォリオのみ必要）」や校友の法定血族を含む2親等内直系血族が出願できる「校友枠選抜（学びのポートフォリオのみ必要）」などがあります。出願には条件がありますので詳細は別紙「学校推薦型選抜（付属高等学校等）資料」「校友枠選抜要項」及びホームページ等でご確認ください。

*右ページでは〈学びのポートフォリオ〉と〈作品ポートフォリオ〉について解説していますが、いずれも制作意図やポイントを書いています。制作の目的を理解した上であなたらしい創造性溢れるポートフォリオをつくってください。

学びのポートフォリオ

対象：総合型選抜、学校推薦型選抜（公募制／付属高等学校等）、校友会のみ

- ・総合型選抜、学校推薦型選抜（公募制／付属高等学校等）、校友会の区分で受験する方に必要なポートフォリオです。
- ・このポートフォリオは作品集ではありません。写真作品ではなく〈あなた自身〉をプレゼンテーションするための一冊を制作してください。

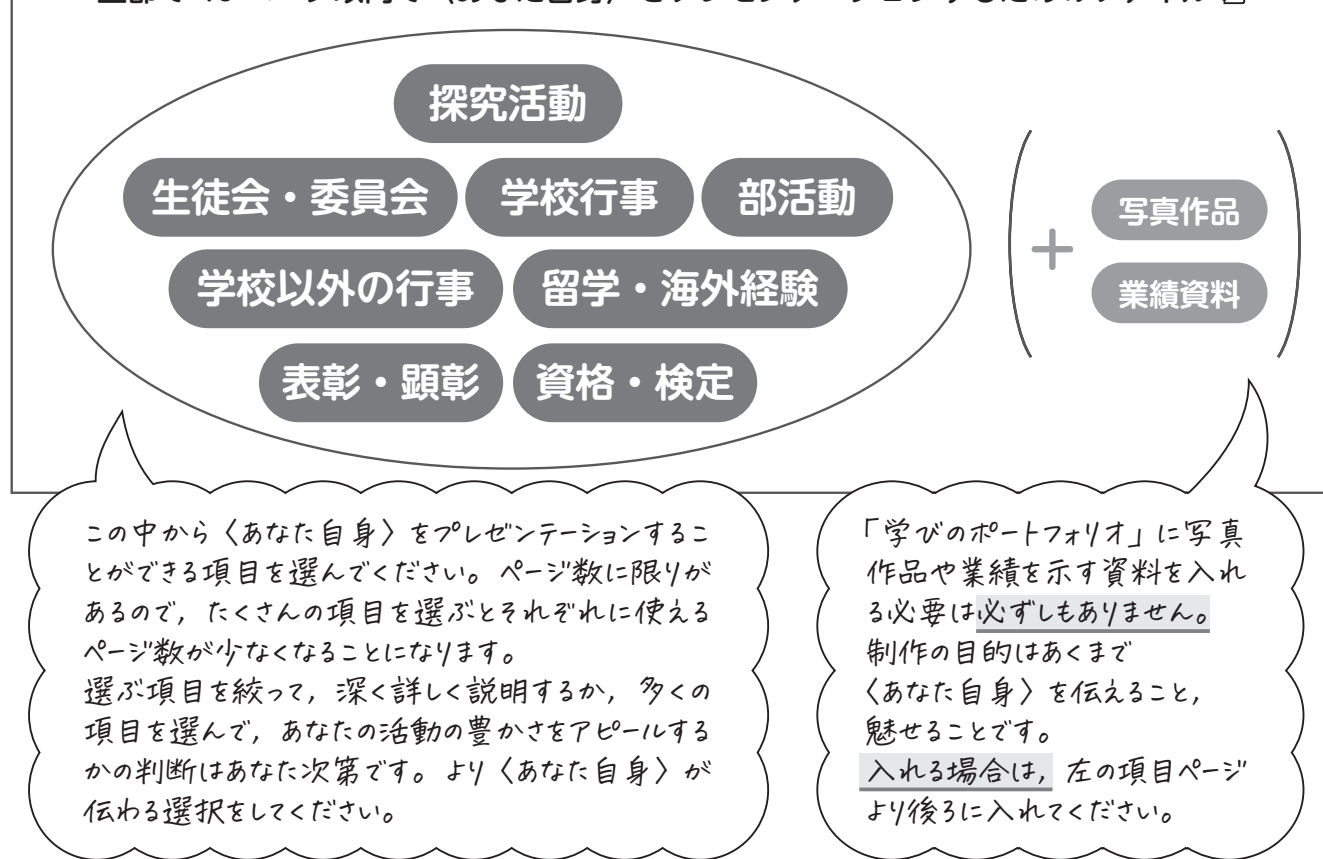
写真学科が指定する「学びのポートフォリオ」 写真作品は必須ではありません

探究活動、生徒会・委員会、学校行事、部活動、学校以外の行事、留学・海外経験、表彰・顕彰、資格・検定の8項目から、自身の学びのテーマに関連する項目を選択し、あなた自身をプレゼンテーションできるポートフォリオを制作してください。写真作品のみを入れるのではなく、これまでの各分野での経験や写真活動が分かるようにしてください。写真作品や写真関連の業績がある場合には前述頁以降に加えても構いません。

ポートフォリオはA4サイズのポケットファイル（20ポケット・40頁以内）とする。ポケットファイルは透明度の高いものを使用し、資料や写真が見えやすいようにしてください。また、ファイルの形状が変わってしまうような厚みのある資料は入れないでください。業績を示すための賞状等はコピーで構いません。

↓つまり、こういう理解です。

全部で40ページ以内で〈あなた自身〉をプレゼンテーションするためのファイル



- ・「学びのポートフォリオ」の1頁目には、受験番号や高校名、氏名をご記入いただきます。
詳細は写真学科ホームページに7月中頃に掲載予定ですので、制作前に必ずご確認ください。

作品ポートフォリオ

総合型選抜のみ対象

- ・写真をみせるための一冊なので、ポケットファイルを使用する場合は透明度の高いものをご活用ください。

写真学科が指定する「作品ポートフォリオ」 総合型選抜のみ対象

A4サイズのポケットファイルを使用し10枚以上の写真で構成されている形式、もしくはフォトブックでも構いません。自分の撮影した写真（スマートフォンで撮影した写真も可）を他者に見せられる形式にしてください。

【映画学科】専門試験参考資料

〔映像表現・理論コース、監督コース、撮影・録音コース〕

小論文及び面接

【総合型選抜】(60分・600字)

次の文章を読んで、“コミュニケーション”について論じなさい。

※佐藤雅彦「新しい分かれ方」中央公論新社、2017年

【学校推薦型選抜(公募制)】(100分・1,000字程度)

次の文章を読んで、あなたの考える創作とはどんなものか自由に述べなさい。

※村上春樹「風の歌を聴け」講談社、2011年

【一般選抜N全学統一方式(第1期) 専門試験併用型】(80分・800字程度)

次の文章は、第19回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展における日本館の展示に際して、キュレーターを務めた青木淳氏の言葉です。ここで言及されている「間」について、具体例を示しながらあなたの考えを述べなさい。

※「ヴェネチア・ビエンナーレ日本館公式サイト」より抜粋

小論文

小論文試験の試験問題に選ばれる題材には、決まった傾向はありません。映画や映像の知識の有無を測る訳でもありません。まずは、原稿用紙の使い方や、誤字脱字がないかといった基本的な文章能力が見られていると思ってください。さらに、出題意図をよく理解できているかどうかという読解力や、文章を論理的に展開できるかどうかという思考能力も見ています。

小論文解答用紙 ▲

面接試験 (演技コースも同様)

面接試験では、自分の思いをしっかりと伝え、

質問には端的に答えてください。試験監督は普段通りの姿を見たいので、リラックスして臨んでください。

〔演技コース〕

実技

【総合型選抜】

発声1

次の内容をはっきりと述べてください。

受験番号()番、(氏名)です。出身は(都道府県名)で、学校は(学校名)高校を卒業する予定です。年齢は()歳です。

発声2

次の文章を朗読してください。

※「漫画で伝える戦争 ちばてつやさん」朝日新聞記事より抜粋

動作

次の内容をしぐさのみで表現してください。

〔設定〕放課後。帰宅しようと階段を降りると、踊り場の窓から雨が降っているのが見えた。傘を取りに教室へ戻る。

教室に入ろうとすると、中から大声で怒鳴り合う声が聞こえる。

中に入るか躊躇する。

言い合いは終わりそうにないので、静かにドアを開ける。

自分のロッカーから傘を取り出す。

傘に引っかかってロッカーの中の荷物が床に落ちてしまう。

音に気付かれ、呼び止められるが、足早に教室を出る。

(そのまま退出してください)

実技

試験内容は、「発声」・「動作」の二種類です。

「発声」は、書かれている文章をしっかりと理解し、はっきりと滑舌良く試験官に伝えてください。無理に感情を込める必要はありません。受験生がどのような声なのか、どのように声で表現するのかを見ています。

「動作」は、文章にあるシチュエーションや感情を仕草のみで表現します。試験内容を覚えていただき、書かれている内容を抜かすことなく確実に表現してください。

仕草のみと言っても決してパントマイムやジェスチャーではありません。「動作」の試験では、受験生が俳優として気持ちを含めた動作が出来るかどうかの素養を見ています。

映画や映像作品では、リアリティのある自然な演技が求められています。映画学科の実技試験では、いつもの自然な姿を見せて下さい。

「発声」と「動作」の実技試験は同じ会場を通して行い、試験の所要時間は5分程度です。試験問題が渡されてから、10分間の練習時間があります。

更衣室は設けていませんので、動きやすい普段着で来てください。



演技コース
実技説明動画

発声 ▼



動作 ▼



〔 絵画コース絵画専攻 〕

【総合型選抜】

実技 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し 静物を描く

出題意図と評価のポイント

実技試験の課題は「静物を描く」です。静物を描いてもらうことによって、絵画における構成力や描写力等を総合的に判断します。画材は油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを事前に選択していただきます。油彩・アクリルを用いた色彩による表現では、特に色感や配色について評価します。木炭・鉛筆を用いた素描による表現では、特にトーン（調子）の幅や的確さについて評価します。

静物のモチーフは卓上に配置してあります。各モチーフの形体の把握や質感の違いを描き分けることなども重要な要素ですが、まずは物がテーブルの上のしっかりと乗っているように描かれていること、背景が壁であるならば、そこに壁を感じることで、そして手前の物が手前にあるように、また奥の物が奥にあるように描かれていることなどが肝要です。



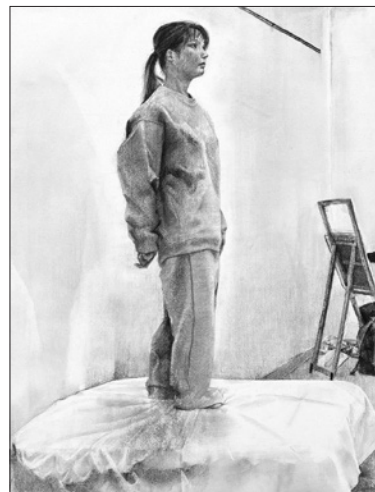
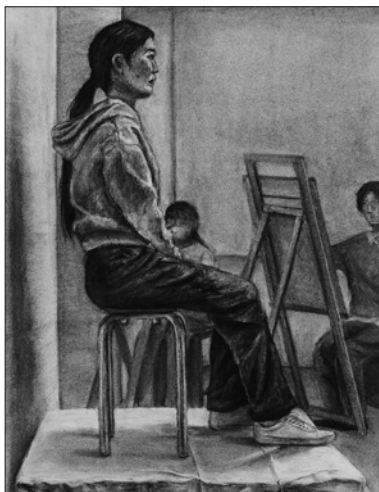
【一般選抜N全学統一方式（第1期）専門試験併用型】

実技 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し 人物を描く

出題意図と評価のポイント

実技試験の課題は「人物を描く」です。人物を描いてもらうことによって、絵画における構成力や描写力等を総合的に判断します。画材は油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを事前に選択していただきます。油彩・アクリルを用いた色彩による表現では、特に色感や配色について評価します。木炭・鉛筆を用いた素描による表現では、特にトーン（調子）の幅や的確さについて評価します。

モデル台の上に人物モデルがポーズをとっています。人物モデルの形体の把握と同時に、そのポーズのもつ重心や軸を見出すことが肝要です。人物モデルが台の上にしっかりと立っている（あるいは座っている）ように描かれていること、背景が壁であるならば、そこに壁を感じることで、画面上に手前と奥を感じるように描かれていることなどを評価します。



〔 彫刻コース地域芸術専攻 〕

【全試験共通】

小論文 （60分・800字以内）

日本国内、国外に限らず、あなたの考える地域をあげ、その場で行われる芸術祭やイベントなどを行う場合において、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、必要な問題点を述べてください。

地域 里山 集落 高齢化 少子化 過疎 伝統 SNS 若者 都市 アート 継続
学校 SDGs 災害 ガイドツアー オーバーツーリズム 自然環境 多様性 五感

【総合型選抜】

出題意図と評価のポイント

試験によって提示される出題の言葉が少し変わることがあります。下記にある言葉とは、どの試験にも共通して出される言葉とその時点で社会問題になっている言葉が20ほど提示されます。自分の住んでいる地域の問題や関わったイベント、訪れたことのある芸術祭などから、自ら感じている問題点を自らの言

葉で述べてください。社会に関わっていくことを日常的に意識していると簡単に述べられると思います。

また国内外で行われている芸術祭の資料集や関連する図書などを読み、それぞれの特徴や意義などを知っておくこともおすすめします。

〔 絵画コース版画専攻 〕

【全試験共通】

実技 デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し 静物を描く

出題意図と評価のポイント

実技試験の課題は「静物を描く」デッサンです。画材は鉛筆または木炭のいずれかを事前に選択していただきます。モノクロの世界をどのように表現するかは、実技課題の静物モチーフと専門試験参考資料を参考にして下さい。

台の上に置かれている静物を、どのように画面の中に入れるかを考えること（構図）からはじめます。次に、モチーフの形体や質感、モノとモノの関係性を的確に捉えているかどうかなどを総合的に判断します。

基礎的なデッサン力を身につけるには、良く観察して、感じることを、素材の質感や台との接点など気をつけて、丁寧に描く事が大切なポイントです。入学試験の際は、普段練習してきたことを最大限発揮出来るように、デッサンの枚数を重ねる事も自信に繋がります。



【学校推薦型選抜】



【総合型選抜】

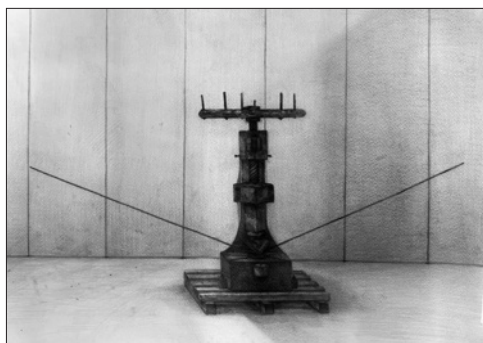


【一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型】

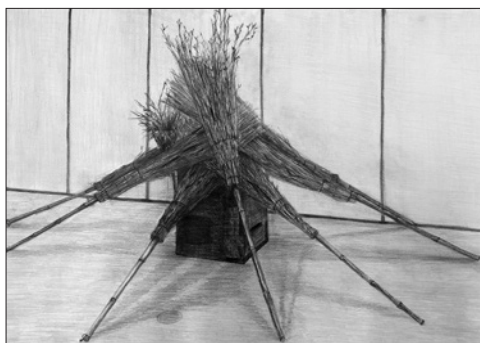
〔 彫刻コース彫刻専攻 〕

【全試験共通】

実技 デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し モノと空間を描く



【総合型選抜】



【学校推薦型選抜】



【一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型】

出題意図と評価のポイント

試験会場に、モチーフが置かれます。植物と木箱など様々なものが出題されます。「モノと空間を描く」という問題は、モチーフが作り出す空間全体を把握し、描画する画面に十分に構成されているかを見ていくことになります。種類によっては、「モチーフ全体を中央に一つ、部分を周辺に複数描きなさい」という問題の場合もありますし、「モチーフ全体を切ることなく大きく描きなさい」という場合もあります。どんなモチーフであっても、

ものの構造をよく観察することが重要で、全体と細部の関係性、面の大きさ、向き、捻れなどそれぞれの特徴を捉える能力が必要になります。モチーフを的確に捉えデッサンで伝える技術も重要ですが、自分で読み取った情報をデッサンとして表現できているかも重要な観点となります。モチーフを自分が彫刻として作るという制作者の観点でデッサンの練習をすることをすすめます。

【音楽学科】専門試験参考資料

音楽学科入学者選抜の課題については「音楽学科実技課題曲案内」(40～43ページ)を確認してください。
また、学部Q&A(63ページ)も併せて確認してください。

〔情報音楽コース〕

□頭試問



◀ □頭試問

情報音楽コースの口頭試問では、受験生が音楽にどのように接してきたかを審査します。

審査方法はあらかじめ用意してきた演奏動画を視聴しながら、質問に答えてもらうかたちです。動画は当日、スマホ、タブレット、ノートPCなどのデバイスを持参していただき、試験室に入室後再生してもらいます。演奏動画の内容に関してはどのようなものでも結構ですが、必ず受験者自身の演奏シーンが撮影されていることが条件です。

演奏曲のジャンルは自由で、ソロでもアンサンブルやバンドでも構いません。ただし、先ほど記載した通り、吹奏楽部の演奏会のような大人数の場合は、必ず受験生が確認できる画質の動画としてください。試験時間は5分から8分くらいですので、動画の長さは3～5分を目安とします。また、複数楽曲を審査対象としたい場合は、複数楽曲をひとつの動画にして再生してください。

自身が演奏しているシーンがあれば、どんなものでも良いというのが基本ですが、この基本に対してどれくらい勝負してくるかもみています。

動画撮影に関しては、演奏の部分差し替えなどの編集は避け、ワンテイクのものを用意してください。ただし、複数楽器の重ね録りは可能です。また、映像編集も可能ですが、ご自身の演奏かどうか分からないような編集は認めません。

評価のポイント

評価ポイントは下記の3つです。録音技術や編集技術は基本的には評価には反映されません。

- ①音楽に対してどれくらい真剣に取り組んできたか
- ②表現することに対して高い意識があるか
- ③音楽を通じて人の心を動かすだけのパッションがあるか の3点です。

①に関してはこれまで音楽にどのように接し、どれくらい真剣に音楽制作や演奏、パフォーマンスに取り組んできたかを評価します。

②は演奏楽曲に対してどれくらいその音楽性を考え、演奏に反映させているかを評価します。

③は演奏された楽曲のクオリティに関わる部分で、演奏技術や音楽に対する理解度を評価します。

〔音楽芸術コース 音楽文化マネジメント専攻〕

グループディスカッション



音楽文化マネジメント専攻では、チームで活動したり、実習を通じて学内外の人々と交渉したりする機会が多いため、高いコミュニケーション能力が求められます。この試験では、提示されたテーマについて少人数でディスカッションを行います。試験会場に資料等を持ちこむことはできません。以下の点を重視し、受験者の能力を審査・評価します。

- ①傾聴力
- ②発信力
- ③質問力
- ④チームワーク・協調性
- ⑤リーダーシップ

評価のポイント

- ①他者の話をよく聞き、適切に応答できているか
- ②わかりやすく自分の意見を伝えられているか
- ③相手の意見を引き出すための適切な質問ができているか
- ④グループの一員として円滑な議論に貢献できているか
- ⑤適切な場面で議論をまとめ、方向性を示す役割を果たせているか

事前課題に関する質疑応答を含むプレゼンテーション

音楽文化マネジメント専攻の事前課題に関する質疑応答を含むプレゼンテーションでは、はじめに受験生が事前に提出した600字程度の文章について1～2分間程度で説明を行った後に、その内容に対する質疑応答を行います。試験会場に資料等を持ちこむことはできません。以下の点を重視し、受験者の能力を審査・評価します。

- ①これまでの音楽経験と音楽との関わり
- ②音楽への考え方や姿勢
- ③思考力・論理性
- ④表現力・説明力
- ⑤コミュニケーション力

評価のポイント

- ①どのような音楽環境で育ち、どんな経験をしてきたかを具体的に説明できるか
- ②音楽をどのようにとらえ、どんな価値を見出しているかを具体的に説明できるか
- ③自身の経験や考えを論理的に説明できるか
- ④わかりやすく自分の言葉で伝えられるか
- ⑤質問に対して的確に回答し、会話のやりとりができるか

写真はあくまでもサンプルとなります。実際の試験とは異なる場合もありますので予めご了承ください。
また感染症等の状況により実施方法が異なる場合もあります。

作文 (800字以内) の解答例

課題 [2026年度学校推薦型選抜より]

次の二つのうちから一つを選んで文章を書いてください。
(タイトルは自分でオリジナルのものを付けてください)

- ①「見送る人」が登場する作文を書いてください。〈作文〉
- ②「豊かさ」について自由に論じてください。〈小論文〉

題名「たんぽぽ」(①を選択)

並木道の桜が舞い、風が鼻をくすぐる。私は木の根元にしゃがみこんだ。おはよう、大好き。こじんまりと、でも力強く黄色く光るたんぽぽに、思わず眩いた。

好きなものに好きと伝える。何故だか私は今、そんな使命感に駆られている。ふと顔を上げると、並木のベンチに俯いて座る人がいた。母くらいの歳の女の。暖かいのに手袋をはめ、紙袋を抱えている。母も冷え性で、冷たい手をぎゅっと握るのが好きだった。思い返しながら前を通過する。その時、気付いた。紙袋の中がたんぽぽでいっぱいだったことに。携帯を見ていたその人に、つい

「よく集めましたね。お好きですか？」

と声をかけた。しかし反応はない。意図せず見えた画面には見知った霊園までの地図が表示されていた。教えようと口を開いた時、その人がパッと顔を上げた。

息が止まった。目の前で同じように目を見開いているのは、母だ。気付いた瞬間、記憶が鮮明に頭に流れこんできた。車の音、衝撃、並木を歩き続ける私。そして分かった。今日の意味。

「悠花……悠花なのね。」

ぽう然と座る母に目一杯の笑顔を向ける。

「お母さん、ありがとう、大好き。行ってきて、霊園。これからは私ずつとそこにいるから。お母さんはあなたの人生を楽しんで。暇ができたら会いにきて。」

何度も頬に伝う涙をそのままに、母は立ち上がり、私に紙袋を差し出した。

「好きでしょう、たんぽぽ。」

私は手袋の上からぎゅっと手を握った。

「うん、大好き。」

母の手はもう温かかった。

「いつてらっしゃい、悠花。」
いつものようにそう言った。それから並木道を歩き出し、桜はハラハラと周囲を散った。

小さく強い黄色の花を私は見続けた。春の風が私の輪郭を完全に溶かすその時まで。

※この解答例は、読みやすさに配慮し、一部の記述を原文から変更しています。

出題意図と評価のポイント

作文は、短い小説またはエッセイ風の文章を書く課題です。小論文は論理性や客観性が重視されるのに対し、作文ではユニークな発想、限られた文字数で読者の心の訴える構成員、描写の力などが求められます。とくに描写を、「説明」と混同しないことが肝要。例えば「彼は悲しそうだった」と書くのが説明であり、涙を流す様子や声色の変化を具体的に描き、読者に「彼は悲しそうだ」と感じてもらうのが描写です。本作の優れたところは、主人公がすでにこの世にいない存在であることを、「死」という直接的な言葉を用いずに示している点です。風景の描写や母の所作、最後の「輪郭

が溶ける」といった表現が重なり合い、味わい深い寂寥感を生み出すことができています。一方で改善の余地も見られます。主人公は自らの死を理解し、母に言葉をかけますが、その過程における内面的な揺らぎの描写がやや不足している感があります。突然の気づきに対する戸惑いや、母と再び別れなければならないことへの葛藤などが描かれれば、人物像がより立体的になり、読者の共感も一層強まるはず。現在は死をすんなりと受け入れています。その間にもう一段階の心の動きを挟むことで、物語全体の厚みも増すはずです。

小論文 (800 字以内) の解答例

課題 [2026 年度学校推薦型選抜より]

次の二つのうちから一つを選んで文章を書いてください。
(タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください)

- ①「見送る人」が登場する作文を書いてください。(作文)
- ②「豊かさ」について自由に論じてください。(小論文)

※ 800 文字の作文・小論文を選択できるのは、学校推薦型選抜 (付属高等学校等)、学校推薦型選抜 (公募制)、学校推薦型選抜 (日本大学競技部)、校友枠選抜となります。

題名「日々の面白さは豊かさから」(②を選択)

この世界は映画や小説など様々な作品に溢れている。ジャンルも様々で、消費者は選んでそれらを楽しんでいる。しかし、この映画はつまらない、こんな本読む価値がない、などの声がちらほらあるのを聞く。個人の意見であるため否定はしないが、私はそれらの感想をもつことに大変もったいなさを感じる。

例えば、芥川龍之介が著した『鼻』という作品を読んだ私のクラスメイトはこう言った。なんだか暗い気持ちになっておもしろくなかった。爽快感な起承転結を望んで読んでいたとしたら、人の豊かさに着目したこの小説は彼にとって期待はずれだったかもしれない。しかし、私はそこで終わってほしくないのだ。もつと作品を味わう心を豊かにしてみると、小説に込められたメッセージを読み取ることができる。いつ何時もないものねだりをしてしまう人間の良くない所は自分にもあるのではないか、という気づきにもなり得る。心を豊かにすることは目の前の作品を興味深いものに變化させることに繋がるのだ。

心を豊かにすれば作品が面白くなると述べてきたが、だからと言って全ての作品を面白がる必要はないとも感じる。もちろん表面だけしか見ずに排除するのはもったいないが、読んで考えを巡らせた後、自分は共感できないとするのも良い。だが、そこで何故自分は共感できなかったのかという所を心の感受性を豊かにして考えてみてほしいと思う。もし主人公の気持ちに共感できないという理由ならば、自身の思想を再確認するきっかけになり、また、新しい思想を知るきっかけにもなる。

このように、心を豊かにすることは作品との出会いを面白いものに変え、自分自身の成長を促すことに繋がる。だからこそ、心の豊かさというのは世界の面白さに比例している。心の豊かさを意識し、豊かさをさらに磨いていけば、見える世界はより面白くあざやかに色付いていくだろう。

※この解答例は、読みやすさに配慮し、一部の記述を原文から変更しています。

出題意図と評価のポイント

小論文は、根拠をもとに自身の主張を述べる課題です。評価のポイントは、主張に対して論理的かつ客観的な根拠が示されていること。それに加え、自分なりの視線で問いを立て、考えをまとめているか、すなわち「なぜ?」の発見に伴う独創性があることも評価を高める上で重要です。本論は、「豊かさ」を物質的な充足ではなく「心の豊かさ」として捉え、それが作品の享受のあり方、自己の成長、世界の見え方の変容に繋がるという主張が目を見えます。とりわけ、作品を面白がるのが世界そのものを面白がる契機となるという指摘は、ショート動画や倍速視聴などに代表され

る、近年の「作品を消費」する風潮に対しての警句として機能している点が評価できます。一方で、より完成度を高めるためには、主張を支える根拠を充実させるべきです。例えば『鼻』から展開される主張は、筆者自身や身近な人物の感想に依拠しており、客観的な裏付けがやや弱い印象を抱きます。また、「共感できない経験が自身の思想の再確認につながる」という指摘についても、どのような過程でそれが生じるのかを具体的に示すことで、主張の輪郭がより明確になります。こうした補強により、着眼点の良さがより強固な議論として立ち上がるはずです。

【舞台構想コース】



▲ グループディスカッションイメージ

出題意図と評価のポイント

舞台構想コースは、劇作、演出、企画制作、合計3つの専攻から構成されています。いずれも、舞台創造の根幹をなすセクションです。伸び伸びとしたアイデアと、実現へ向けた現実的なプランの両方が必要です。作文・実技試験では以下のポイントに注目します。

- グループディスカッション：発信力・傾聴力

自分と他者のアイデアを皆で共有し、意見を交わしながらブラッシュアップしてゆく過程。

- 作文：省察力・構成力

自分の知っていること、これから学ぼうとすることを、論理的に組み立て、他者に伝わる文章にすること。

【演技舞踊コース】



▲ 実技イメージ①

出題意図と評価のポイント

演技舞踊コースは、演技、舞踊、合計2つの専攻から構成されています。舞台表現のフロントに立つセクションです。実技試験では以下のポイントに注目します。

- 演技舞踊にかかわるもの：表現技術・創造性
- 実技表現課題：想像力・構合力

どちらも、演技専攻志望者は台詞表現、舞踊専攻志望者は舞踊による身体表現を原則とします。両専攻ともに、舞台上で必要となる表現技術と創造性の両立、さらに将来性を評価のポイントとします。将来、社会の中で他者とともに舞台表現創作を実現できる能力を大切にします。



▲ 実技イメージ②

【デザイン技術コース】



▲ プレゼンテーションイメージ

出題意図と評価のポイント

デザイン技術コースは、美術、照明、衣裳、音響、舞台監督、合計5つの専攻から構成されています。上記5つの専攻は、舞台芸術の創作及び上演において、互いに補完し合いながら芸術性を高めていきます。実技試験では以下のポイントで注目をします。

- グループディスカッション：相互理解
自身のアイデアを、集団創作に生かすことができるかどうか。
- 口頭試問：省察力
これまでの芸術に関する活動や感動をどう捉え、今後どうしようとしているか。
- プレゼンテーション：読解力・発想力
与えられた課題を正しく読み解き、オリジナルな視点で分析できているか。

【出題のねらい】

放送の世界を志す人には、社会や身のまわりのできごとを観察し、整理し、相手に伝える力が求められます。放送学科の作文試験は、まず、ひとりよがりの文章ではなく、読む人を意識した文章が書けるかどうかについて見ることをねらいとしています。また、どんな経験をしたか、何を思い、どう考え、どのような感性でそれをとらえたかなどについても見ています。

【試験について】

課題（作文の題名）は試験開始直前に試験監督者から発表されます（課題用紙を配布する場合もあります）。提示された課題について、どのような作文を書くか考え、指定の時間（60分）・字数（600字）で取り組みます。その際、下書き用紙も配布します。なお、採点は複数の教員で行い、客観的に評価をしています。

【作文に求められる力】

作文に求められる力は、大きく3つです。

- 1, 着眼点 : 課題から発想した文章に自分らしい視点があること
- 2, 構成力 : 指定の字数で文章を構成し、まとめ上げる力
- 3, 表現力 : 自分の思いや考えが相手に伝わるよう、言葉にする力

自分の思いや考えを伝えるために言葉を適切に使い、決められた時間・字数の中に文章を収めること。そして、文章の中にありきたりではない自分らしい視点があること。これらは放送番組を企画、制作する上でも必要なことです。番組作りと重なる点があることから、放送学科では作文を専門試験としています。

【合格者の声】

試験日に初めて知る問題に対応するには、発想力と計画性が必要だと思います。

まず、発想力を高めるにはマインドマップがおすすめです。キーワードを中心に置き、そこからイメージを繋げることで思考を豊かにすることができ、作文のアイデアが浮かびやすくなります。

そして文章を書き始める前には、簡単な骨組みを作り、計画してから書くのがおすすめです。作文用紙を4つに分けて「起承転結」を割り振り、全体像をイメージしておくと、あとから書き直すことが減ると思います。また、私は塾の先生に作文を見せて添削してもらっていました。

読んでもらう人に伝わりやすい文章を心がけて練習することが、作文の上達の近道だと思います。

私は感性の積み重ねが文章になると思います。なぜ感動したのか、どこが面白いのか、普段素通りしている感情と向き合ってみてください。俯瞰的に捉えたり、細かく追求してみたり、複数の視点から感じたり、考えたことを言葉にすることを繰り返し、楽な言葉で逃げない習慣を身につけてください。日本語特有の繊細さを楽しむ好奇心が語彙力を高めます。

そして、良い文章を書こうと思わないでください。創作意欲や小手先の技術だけが先行してしまうと、本心とは離れた場所で文章ができてしまいます。目指すべき文章を知ることが大切ですが、一度自分から生まれる言葉を認めてあげてください。言葉に責任を持ちつつ、正直に自分と対話してみてください。あなたを感じることができた時、きっと心を動かす文章になっています。

私が作文試験で意識して取り組んだことは「指定されたテーマからいかに発展させた題材で書くことができるか」で、マインドマップを使って他の人が気づけない視点をテーマから探し出す練習をしていました。

例えば私が受験した時のテーマだった「桜」だと、春、入学式、お花見など題材はいろいろ思いつきますが、私は「葉桜」を題材にし、桜の花よりも葉桜が好きだという私の母について書きました。花のイメージが強い桜で敢えて葉に焦点を当てて書いた人は他にいなかったのではと思います。

テーマが指定されていると聞くと構えてしまうかもしれませんが、文章のどこかにそのテーマがわかるものが紛れていれば成立します。気負わずに、自分の面白さを最大限表現してみてください。

■ あなたにしか書けない作文を

例えば「夢」がテーマ（題名）の作文試験で求められるのは、「夢とは何か」「人はなぜ夢を見るのか」といった説明文や小論文ではありません。あなたなりの着眼点や発想・経験にもとづいて書かれた「夢」という作文の中に、読み手に伝えたいことや共感して貰いたいことがしっかり書かれているかどうかを見えています。これまで積み重ねてきた経験、抱えてきた事情・葛藤、感じてきた喜怒哀楽、培ってきた価値観・美意識・問題意識等々はあなた固有のものです。その一端をあなたなりの発想力・表現力・構成力を駆使して作文にまとめてください。それは、あなたにしか書けない作文のはずです。

■ 構成の全体像をイメージして書く

作文そのものに苦手意識はないものの、字数や時間に制限が設けられると「うまくまとめられない」という人もいます。書きながら次の展開を考えているため、行き当たりばったりの書き方をしてしまう。そういう人は、作文の全体像を明確にイメージしてから書き始めるようにしてみましょう。おすすめは、起承転結を象徴する4枚の「絵」や「映像」で全体像をイメージしてみること。そして、それらが情景としてありありと目に浮かぶような作文としていくのです。実は、テレビ番組の構成台本やドラマの脚本も、場所や情景、人物の様子や動き等の「映像」を指定しながら書きます。この書き方のコツを掴めば、作文試験だけでなく、将来放送業界に進んでからもきっと活かせるはずです。

■ 具体的な事実やエピソードにもとづいて

「母校の甲子園出場のために一生懸命応援したが、負けてしまい悔しかった」。このような文章は、読み手に大雑把な理解しかもたらしません。「一生懸命」「悔しい」といった形容動詞・形容詞は、様子や心情を大雑把に言い表しているに過ぎない言葉なのです。読み手の理解と共感を得るためには、それに見合う具体的な事実やエピソードを盛り込みながら、その時々の様子や心情を表現することが大切です。例えば、「チアリーダーとして炎天下の球場で汗まみれになってダンスとパフォーマンスを繰り広げた」といった具体的な事実、また「野球部のみんなが整列して応援席に一礼したとき、幼馴染の背番号1が顔をくしゃくしゃにして泣いているのが見え、気がついたら自分も号泣していた」といったエピソード。それらを作文の読み手と共有することによって、はじめて共感が得られるのです。

自分で決めた題名で構いません。時間を正確に計って作文試験と同じ600字・60分で作文を書いてみましょう。そして、身近な人に読んでもらい、率直な感想を聞いてみてください。読み手を意識して書くことの積み重ねが、あなたに実力と自信を必ずもたらします。



アドバイス ①

読み手にイメージさせたい情景を「絵・映像」として具体的に思い浮かべながら全体の構成を練ると、よりわかりやすく、より伝わりやすい作文になります。

- ▶ 起承転結の構成とするなら、各段落を象徴する4枚の「絵」を念頭に置く（4コマ漫画のようなもの）
- ▶ テレビ番組に置き換えるなら、どんなオープニング映像やナレーションで視聴者を食いつかせるか、またどんな展開を経て番組のクライマックスへと繋ぐか、そしてエンディングをどう締めくくるか考えてみる

書きながら次の展開を考えるのではなく、書き始める前に全体像をイメージしておくことが大切

アドバイス ②

賑やか 華やか 静か 楽しい 面白い 嬉しい 悲しい

こうした形容動詞・形容詞だけでは、その場の様子や心情を読み手にきちんと伝えたことになりません。

- ×「東京ドームは、広くて賑やかだった。楽しかった」
- ×「ディズニーランドは、広くて賑やかだった。楽しかった」

■ 東京ドームとディズニーランドが、文章表現のうえで全く同じ場所になってしまう

広さや賑やかさについて、実際その場で聞き見た具体的な事実や体験したエピソードで表現するようにしてみましょう

【デザイン学科】専門試験参考資料

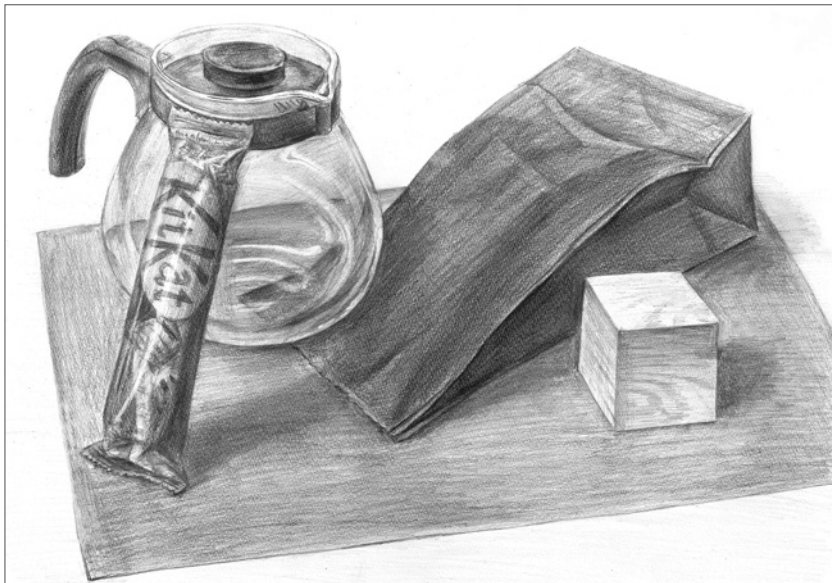
一般選抜N統一方式専門試験併用型 実技（デッサン）

課題 与えられたモチーフ、「コーヒーサーバー」、「カラー紙袋（緑）」、「キットカットバー」、「ラシャ紙（B4版・グレー）」「想定立方体」を以下の条件にもとづき、台紙の上にセットし鉛筆でデッサンしなさい。

- 条件**
- (1)「想定立方体」は、1辺5cmとし、質感や色は自由に設定すること。
 - (2)「キットカットバー」は、パッケージを開封せず、配付時の状態のまま使用すること。
 - (3)「ラシャ紙（B4版・グレー）」は、モチーフの下に敷いてセットすること。
 - (4)モチーフの固定には、持参したねりゴムを使用してもよい。
 - (5)配布された白の台紙は描かなくてよい。
 - (6)配布した白いコピー用紙（A3版）は下描きに使ってもよい。
 - (7)定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。ただしはかり棒の使用は可。
 - (8)用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。



（条件詳細は34ページを参照）



◀ 解答例Ⅰ

変化に富んだ構成と空間演出が特徴的な作品です。コーヒーサーバーにキットカットバーを立てかけ、立体的な光影によるドラマチックな画面作りが目を引きました。また、ガラス越しに紙袋を配置し、映り込みの歪みを丁寧に描くことで透明感を表現するなど、鋭い観察に基づく意図的な演出もユニークです。床の水平面や立方体のパースの歪み、構図などに改善の余地はありますが、モチーフの特徴を引き出そうとする前向きな制作姿勢が、独自の魅力に繋がっています。

▶ 解答例Ⅱ

出題されたモチーフの相互関係を活かした安定感のある配置と、メリハリのある白から黒までの豊かな階調が、空間のクリアな印象づくりに繋がっています。特にロゴのコントラストを強調して視線を集める工夫や、背景との関係で立方体の上面を際立たせる演出が効果的です。接地面の描写に一部不明瞭な点は見られるものの、随所に凝らされた工夫が、デッサンとしての自然な全体感の表現につながっており、バランスの良い作品として評価しました。



出題意図と評価のポイント

すべての受験者が共通のモチーフを用い、時間内で制作します。モチーフはセットで一人ずつに渡されますので各自が自分の机の上でモチーフを組み、カルトンに画用紙をセットしてのデッサンになります。デザイン学科のデッサンは日常的に身の回りにあるモチーフを配布や想定で描く構成デッサンを出題します。問題を正しく理解した上でデザイナーとして必要な読解力、観察力、想像力、構成力、描写力を基盤とする総合的な造形力を採点判断の基準とします。

〈読解力〉問題文の内容や意図の理解。

〈観察力〉モチーフの形や大きさ、構造などの正確さや、質感、光と影の関係性など。

〈想像力〉想定したモチーフや状況をイメージし視覚化する。

〈構成力〉モチーフの扱い方や見せ方、組み合わせのバランスを考慮した構成や配置。

〈描写力〉そこに存在する自然さとリアリティのある関係性の表現。

一般選抜N統一方式専門試験併用型 実技(デザインプレゼンテーション)

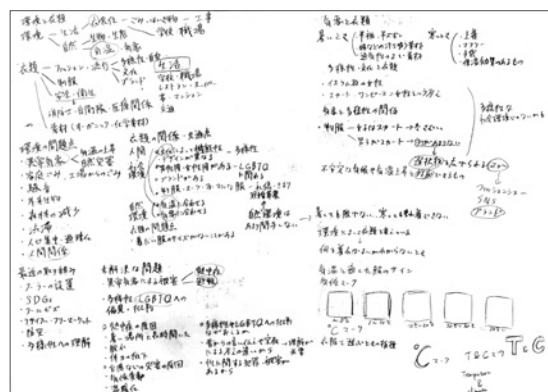
課題 私たちを取りまく環境と衣類にかかわる問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をなさい。

環境と衣類との関連性を考慮し、人間と両者との間にどのような問題があり、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。または、気づきにくい問題点や面白さに着目し広く知ってもらうための提案でも構いません。例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」、または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」など、あなたが得意とする分野での実現可能な提案を求めます。

▼解答例Ⅰ



▼解答例Ⅱ



私たちが生きていく上で無くてはならない衣食住のうちの「衣」についての出題ですが、単にスタイルなどの外見的なことや流行、好みの問題として捉えるのではなく、出題意図としては「環境」という切り口から問題点を見付け出すことを促しています。したがって環境をどのように捉えるかによって衣類との接点を探ることになります。例えば、地球規模で注目されている大量の衣類のゴミやリサイクルに関連した問題や、地球の温暖化や気候変動、災害などの自然現象の問題など、さまざまな着眼点で衣類との関係を探ることが想定されます。

以上の観点から、解答例Ⅰは大量に消費されゴミと化している衣類の問題に着目し、使い捨てるのではなく、飽きずに長く使い続けることができる洋服の仕組みの提案です。洋服をパーツ化してそのパーツをパッチワークのように簡単に組み合わせさせてアレンジすることができ、またパーツになる襟や袖なども古着やリサイクル素材によって再生されるという仕組みも提案されています。

一方、解答例Ⅱは、自然現象と衣類との関係に着目し、気温と天候にあわせた服選びが誰にでも容易にできるようにと、気温と天候をイラストで指標化するサービスを提案しています。その指標の組み合わせを衣類にタグなどで表示することにより、子どもからお年寄り、外国人にまで容易に気温と天候に最適な洋服を提示することができます。オンラインショップでの服選びの間違いを無くすことも考えられています。

出題意図と評価のポイント

出題文から問題を見つける「問題発見能力」に加え、それを解決する「問題解決能力」が試されます。更にはその解決方法に「独自性」が認められるか、「想像力」に富んでいるか、その中に「発想力とアイデアの展開力(幅広い視点でたくさんのアイデアを出せるか)」という点も含まれます。最終的にはそれらをわかりやすく表現するための工夫がなされているかという「プレゼンテーション力」とともに、その最終案が独りよがりの思いではなく、客観

的に共感が得られるアウトプットを導き出しているかという「提案力」を評価します。そのため、1枚目の最終案をまとめた答案用紙だけではなく、もう1枚提出する最終案に至るまでのアイデア展開の過程を記入した答案用紙も重要となりますので、これには考えた問題点やそれを解決するアイデアを思いつくままできる限り書き記すことがポイントとなります。